

みどり福祉ホーム通信

横浜市緑区十日市場町 808-3 ● Tel.045(984)7878

30年間の歩み



理事長 石橋 陽子

昭和60年12月に、自然の光いっぱい「ふれあいの広場」のキャッチフレーズで、横浜市では10館目になる地域活動ホーム「みどり福祉ホーム」はオープンしました。早いもので30年の年月がたちました。

開所までには、緑区を中心に在住する障害のある子供たちを持つ多くのご家族の方の熱心な活動街頭での募金活動、資金集めの為のバザー等があったことはもちろんですが、地域の皆さま方の暖かいご支援とご協力があった事を忘れてはいけません。

自治会館を借りたり、公民館を借りたりして、活動を続けていた「障害児学童訓練会 さくらんぼ会」や「小規模作業所 水曜クラブ」の利用者さんたちは、この福祉ホームでの活動場所が得られたことで、活動の幅も広がり、地域の中で活動する喜びを皆で感じたものでした。あの頃、まだ幼児だった皆さんは30歳を越え、立派な社会人として、福祉ホーム以外の地域作業所・授産施設・生活介護事業所・一般企業等で頑張っています。また、親元から離れ、グループホームで自立生活をおくっている人もいます。

福祉ホームの30年間の歩みの中では、地域の皆さまの暖かいご理解とご協力が無ければ、活動を続けてくることもできなかったと言っても過言ではないと思います。特に、みどり福祉ホームの開所と同じ時期に開所した、隣接施設「十日市場地区センター」の皆様方には多大なるご理解とご協力を頂き、福祉ホームでは展開できない活動も行事で利用者の経験の幅を広げる事が出来ました。これからのみどり福祉ホームが、地域の中で、どんなに重い障害のある方も、特別の存在ではなくみんなと同じ生活をおくっていく為の拠点となる事を祈っております。



昭和60年頃のさくらんぼ会のご活動の様子



開所当時のパンフレットより



開所前は地域の自治会等のお部屋を借りて自主訓練会を行っていました。



毎年、地区センターの方にもご協力を頂き、福祉ホーム祭りが盛大に行われてきました。以前は、福祉ホーム前の道路もフリーマーケット会場となり地域の方が大勢参加して下さいました。



水曜作業所 平成3年 全員集合



十日市場町主催の盆踊り大会にも参加させてもらいました。地域の皆さんと一緒に踊りました。



バザー会場はいつも大賑わい！
父親たちも積極的に協力してくれました。



利用者はいろんなところへ飛び出して行きました。
新幹線や飛行機で旅行!!!
これからもいろんなところに飛び出していくことでしょう。
皆さん応援をよろしくお祈りします!!!!



平成28年度

ゆめグループ

よろしくお願いします☆



28年度も早、4か月がすぎました。
今年も元気いっぱいのゆめグループ、たくさんゆめをかなえる
ために仲間と地域にでていきます!!



お花見



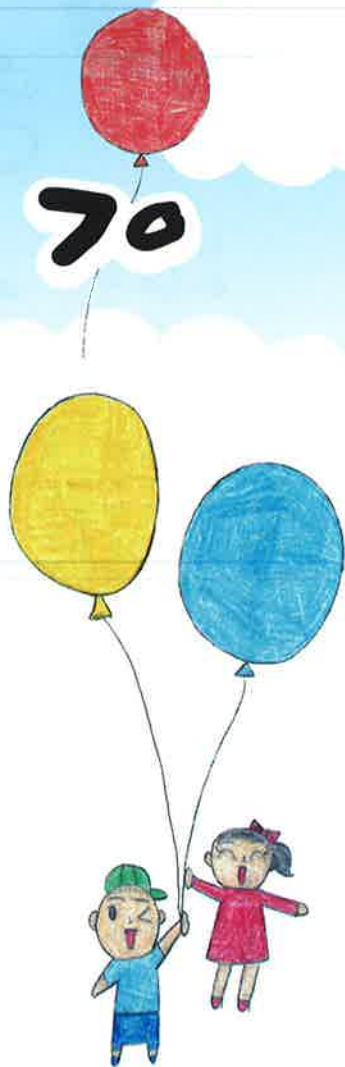
6月22日に福家さんのお母様が所属するトーンチャイムグループ"チャイム12"のみなさんがみどり福祉ホームへ演奏に来てくれました。とっても素敵な演奏、トーンチャイムが欲しかったみんなでした、...



こいのぼりを見てきました!

平成28年度

にじぐループ



28年度「にじ」色に輝く7人のメンバーがスタートしました。元気に楽しく輝ける「にじ」は明るく輝いて活動していきます。よろしくです！



活動ホームと生活支援

みどり福祉ホームは、横浜にしかない機能強化型障害者地域活動ホームという建物で、その大きな特徴は、①障害の種別を問わない。②障害児・者の活動拠点である。③地域交流を促進する。の3つです。30年以上前から先駆的に地域福祉を実践していました。更に障害児・者や家族の暮らしを支えることも大きな目標であり、役割となっています。

いくつかの横浜市独自の事業も行っています。その一つが生活支援事業です。家族支援の意味から障害児・者を、一時的にお預かりしたり、一緒に余暇を楽しんだり、時にはお泊りを行ってきました。

みどり福祉ホームでも、登録している障害児・者の一時ケアを行っています。家族支援とはいえ、スタッフは、利用者に会うなり「今日はなにしようか?」「どこ行く?」「なに食べる?」と聞いています。利用者は家族や学校、日中活動先とは違うリラックとした表情をみせているかもしれません。



新入職員紹介



運転ヘルパーの佐藤明さんです。
よろしくお願いします。



左が渡邊紘士さん。右が田中芳明さん。
生活介護事業部で働いています。
くわしくは下の記事を。

亡女想心同期対談

(新採用職員2名による)

渡邊 「田中さん、聞きたいことがあるんですけども」

(渡邊さんはざりざり30歳代、田中さんは40歳代、年齢的には

田中さんが先輩)

田中 「なに」

渡邊 「みどり福祉ホームの素敵などころをひとつ挙げてください」

(渡邊さんは常にいいところ探しをしているらしい)

田中 「明るいところ、いつも元気」

(就職して1か月でもう素敵などころをみつけてるんだ、実は

田中さんとみどり福祉ホームはずいぶん前から浅からぬ関係)

渡邊 「そうですね、うんうん、座右の銘は?」

田中 「ないなあ、強いて言えば、努力は報われる」

渡邊 「格好いい!」

田中 「ところでさ、今まで仕事をやってきて一番達成感を感じた瞬間は?」

(渡邊さんは市内の知的障害者の事業所で長い間仕事をしていました)

渡邊 「利用者がうまくグループホームに入れた時ですかね、

ご家族とご本人との一緒にの思いになって一つの目標を達成したみたいな」

田中 「わかるわかるで、渡邊さん、これだけは誰にも負けない、

一番つとところある」

渡邊 「物忘れ」

田中 「なんだよそれ」

渡邊 「田中さんのチャームポイントは」

田中 「つぶらな瞳」

渡邊 「確かに」

田中 「家族幸せの秘訣教えて」

(田中さんは結婚したばかり、渡邊さんは3人の女の子のパパ)

渡邊 「健康ですね(力強く)、なるようになる、Let Be、あと、人の悪口を言わないこと」

田中 「参考になります、これから、よろしくね」

渡邊 「こちらこそ(2人、がっちり握手)」

(アンケートをもとに荒木が再構成しました。責任は荒木が全て

とります)



「ぶかぶかパンの店」

パン屋さんがやってくる！ヤアヤアヤア2
 ほぼ毎週火・水曜日12時30分から13時ごろみどり福祉ホームにパン屋さんやってきました。
 霧が丘にある「カフェエベーカーリーぶかぶか」さんです。メンバーの方たちもパンもとっても個人的(理事長なんて特に変わってる)霧が丘の店舗ではパン以外にもお惣菜、アート作品なんかがあります。
 予約必至のおしゃれカフェもあるんです。

「カフェにオレの作ったスープたまには飲み来てよ」
 (BYトシアキさん)

NPO法人ぶかぶか
 ぶかぶかパンの店「カフェエベーカーリーぶかぶか」
 緑区霧が丘3-25-2203
 TEL 045-921-0506



内緒のはなし
 今回の「みどり福祉ホーム通信」から編集・アートワーク・発送などNPO法人ぶかぶかのアート屋わんどさんが手掛けてれています。みどり福祉ホームから、業務委託費が支払われており、ぶかぶかのメンバーさんの給料が少し潤うことになるはずですよ。

みどり福祉ホーム祭り 開催決定！

今年度のみどり福祉ホーム祭りは
平成28年11月19日(土)に開催することになりました！

スペシャルゲスト・出店者も続々内定。
 年々ますますパワーアップ、乞うご期待。
 みなさんもとりあえず、カレンダーに赤丸をつけて！



寄付をいただきました。

- ・赤い羽根共同募金会様
- ・新治西部地区社会福祉協議会様
- ・携帯車椅子スロープ

みどりの家・みどり福祉ホーム家族会様 より
 地域交流のためにつかっ下さいとありがたいものをいただきました。

本当にありがとうございます。



編集後記

「みどり福祉ホーム通信」
 を読んでのうちに読んで
 いただき、もっと多くの方
 に「みどり福祉ホーム」の
 ことを知ってほしいなと
 思っています。理事長に
 みどり福祉ホームのこころを
 伝えてもらいました。僕たち
 がみどり福祉ホームの
 みどり福祉ホームを
 ずっと続けていきます。

理事長 山本 傑

